

令和 8 年 8 月 26 日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第 7 回 (8/26号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は例年と比べて前進傾向に推移しております。

韮山地区、大仁地区の白山堂は、今週末にかけて穂が見えてくる見込みです。また、大仁地区、長岡地区では出穂期に入っていました。

山間地では、黄化粃の割合が 8 割程度で収穫適期から収穫約 1 週間前になっています。ご自身の圃場を確認いただき、刈遅れがないように注意してください。

② 病虫害状況

今回の調査では共同防除の効果もあり、ウンカ類やヨコバイ類の発生量は前回の調査と比べて減少していました。共同防除をしていない圃場に関しては、圃場内のウンカ類やヨコバイ類の発生状況を確認していただき、必要に応じて防除をお願いします。出穂期を迎えた圃場は、カメムシの侵入が増えてきます。出穂期から乳熟期が終わるまではカメムシの吸汁により斑点米が発生する時期になりますので、圃場の状況を確認し薬剤防除を検討してください。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3kg/10 a 3,900円/1袋 (3kg)

時 期：出穂期～出穂10日頃

備 考：上記時期はカメムシの散布適期です。秋ウンカもこの頃に密度が増加してきます。カメムシ対策も兼ねてこの時期に散布を推奨します。

3 cm程度の湛水状態で散布し、4～5 日間は湛水状態を保つようにし、散布後 7 日間は落水やかけ流しをしないようにしましょう。

○トレボン粉剤DL 3～4kg/10 a 1,460円/1袋 (3kg)

時 期：収穫 7 日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

※商品の値段は全て税込表示です

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。